

II つぎの問いに答えよ。

問 1. 次の図は、1960年と92年の日本国内の食料生産・加工・消費における窒素循環量を示したものである。この図に示された数値をもとにこの間に日本国内で食生活や生活環境に起きた変化を説明せよ。なお、窒素は蛋白質を初め色々な生体成分を構成する元素である。

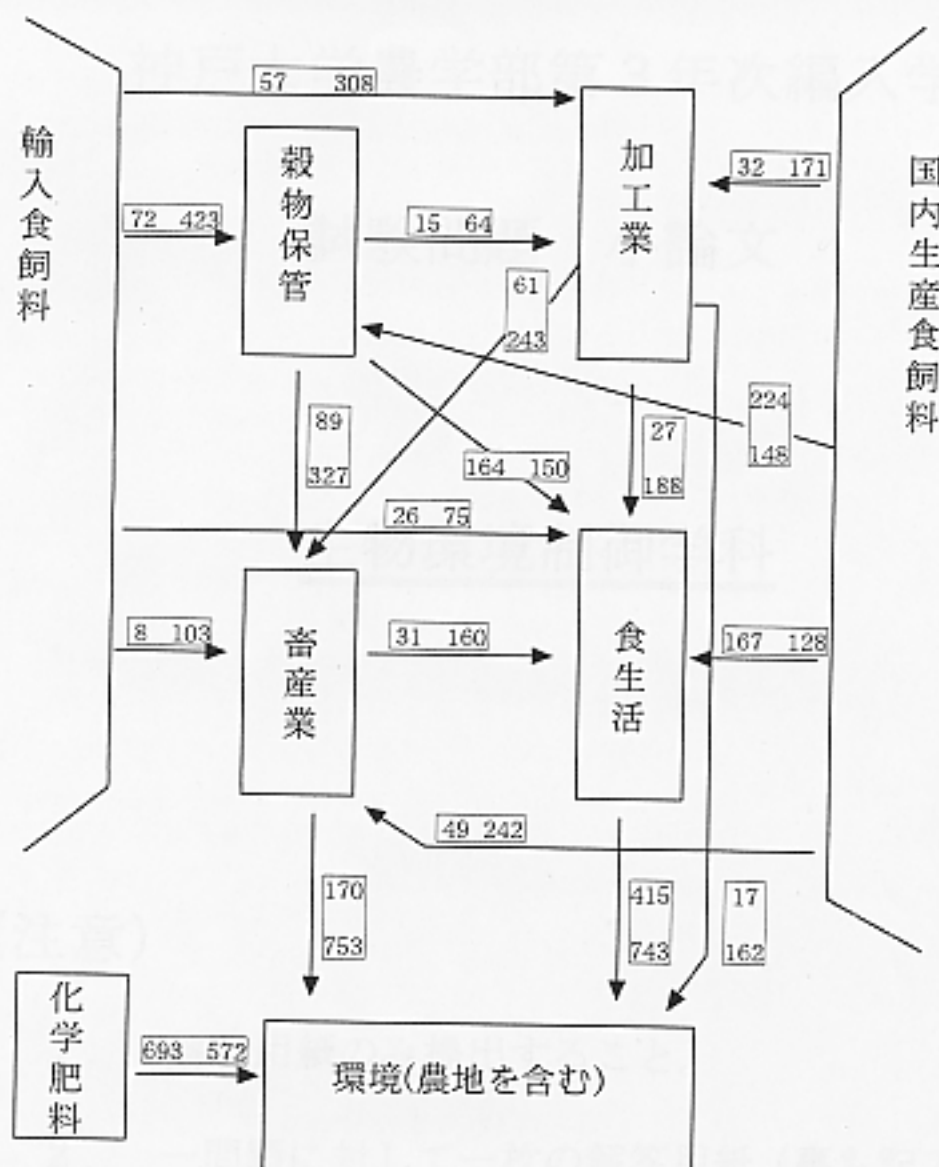


図 1960年と1992年のわが国農業生産システムにおける窒素循環の違い
 数字は上または左が60年、下または右が92年の値(窒素として、単位千t)
 注) 一部データを省略しており、各区分の収支はきっちりとは合わない。
 特田共之 窒素の循環から見た課題(農文協 1997) を改題

問 2. 江戸時代には、近郊の農家から野菜などの食料を都市へ、都市から糞尿などを肥料として農家へ、ならびに、都市の生活排水による海の富栄養化とそれによる魚などの水産物の供給という窒素の循環があった。そのことと上記の図から見られる現代の食料事情を比較し、今後の日本の食料供給・消費についての意見を述べよ。